



明日は節分。そして、立春。 春の始まりです。

いよいよ2月となりました。暦の上では、2月3日が「節分」。冬と春の分かれ目にあたり、その翌日が「立春(りっしゅん)」、旧暦では、1年の初めとされています。今年は暖冬とされており、例年より早く学校の白梅も咲き始めています。2月中旬には、紅白梅が見ごろを迎え、やがて鶯の鳴き声が聞こえる頃までは、まだまだ寒さ厳しい日が繰り返されますが、ふくいくたる梅の香りには春の訪れを感じます。

さて、今週は可愛い新1年生が潮見小学校へやってきました(入学説明会)。次年度交流の中心となる5年生が、安心して入学式を迎えることができるよう、学校案内やゲームで楽しませてくれました。あっという間に1月が終わり、6年生が潮見小学校に来るカウントダウン暦は「29日(2日現在)」と30日を切りました。これから本格的に卒業式に向けての準備も始まっていきます。体調に気をつけながら、残された日々を楽しんでほしいものです。



縦割り「ふれあい遊び」をしたよ。 1月26日

26日には、縦割り班で交流を深める「ふれあい遊び」を昼休み後の15分、運動場や体育館、指定された教室で楽しみました。

赤白各班で、鬼ごっこや、フルーツバスケット、ハンカチ落としや、音楽に合わせてのボール渡しなどを楽しみました。定番ですが、縦割りでするとみんな笑顔です。高学年が低学年を楽しませようと優しさを発揮していました。



感謝して食べよう!(給食集会) 1月30日

30日の朝、給食集会がありました。給食委員会の企画で、全国学校給食週間(24日~30日)に際して給食に関わる話題や、給食を作ってくださる調理師さん方にインタビューをして、その思いを伝えてくれました。最後はハプニングもありましたが、元気にみんなで「栄養の歌」を歌うことができました。



高く上がったよ!(凧あげ) 1月26日

この日1・2校時、1年生が楽しみにしていた「凧あげ」をしました。快晴で気持ちの良い朝となりました。最初は短く、だんだんと糸を伸ばしていくと、どんどん高く上がっていききました。子供たちは大喜びです。でも、高く上がると、友達の凧と絡みやすくなります。絡んでしまったら、先生や民生委員さんに相談していました。いつも学習支援に入ってください民生委員さん、根気強く絡んだ糸をほどいてくださいます。こうした支援があっただけ、どの子も笑顔で凧あげ



を楽しむことができました。青空の下、悠々とおおよぐ凧と子どもたちの歓声に、思わずこちらも嬉しくなりました。

たくさんの本を読んでいます! 図書室利用状況

テレビで活躍する芦田愛菜さんが読書好きというのは有名な話です。その著書「まなの本棚」には、愛菜ちゃん何が欲しい?と聞かれたら、小さい頃から真っ先に本が欲しい!と言っていたと書かれています。きっとぬいぐるみやゲームで遊ぶのと同じ感覚で、私にとって本は、ずーっと遊んでいられる、おもちゃみたいな存在だったのかもしれませんが、とも。

本校の子どもたちも、少しずつ読書好きが増えていくようです。令和5年度1月までの本の貸し出し冊数を紹介します。低学年5,122冊(一人平均105冊) 中学年3,728冊(同83冊)、高学年2,236冊(同39冊)でした。潮見小学校は、年間目標を低学年100冊、中学年80冊、高学年50冊と設定しています。高学年が興味を示す本はページ数も増え、内容も読みごたえがあるものが増えてきます。それこそ遊び感覚で楽しめたらいいですね。読書習慣を身に付け、読書を楽しめる潮見っ子になってほしいですね。

校長の独り言⑧ 教師のサガ～思わず伝えたくなること！ SLIM 月面着陸

先週26日、4年生の教室に授業で入る機会がありました。子供たちは担任の指示で、この時間にやる自習課題は分かっている、それを黙々とこなしていたのですが、私自身は話したいことがあって、それを話したくてウズウズしていました。校長になっても、教師のサガが抜けません。伝えたい思いでいっぱいになるのです。前の日、月面着陸に成功した「SLIM」のことです。新聞に載っていたイメージ画像（右下）まで用意していました。子供たちがどんな反応を示すのか心配な面もありましたが、我慢しきれずに恐る恐る「大谷選手のグローブ贈呈と同じくらい嬉しい事があったんだけど…」と言って、その画像を見せました。「あーっ！」。4年生の子供たちの反応はとても良かったです。嬉しくなって、新聞やHPで詰め込んだ知識をべらべらと子供たちに話しました。（以下のことを分かりやすく。）何より、たくさんの4年生が、普段からニュースに触れ、いろいろなことに興味を持っていることが嬉しかったです。（優しい4年生に救われました…。）



SLIM月面着陸

25日未明に、小型探査機「SLIM（Smart Lander for Investigating Moon：賢い月探査着陸船という意味だそうです。）」が見事月面着陸に成功しました。大きさは、高さ2.4m、重さ210kgの人間より一回り大きいサイズですが、イメージする宇宙探査機に比べると、思ったより小型だなと感じました。9月に、種子島からH2-Aロケットに搭載、発射され、この日無事？月面着陸しました。着陸姿勢は計画とは異なり、「逆立ち」するように側面を下にし、主エンジンが上を向いていたそうですが、機体異常で、東側に流されながらも自力で着陸できたというのはすごいではありませんか。世界で5カ国目となる月面着陸、でも「ピンポイント着陸」は世界初で、これまで数キロ～十数キロだった着陸精度が、世界でも前例がない10m以下だったというではありませんか。38万km離れた月の降りたい場所にピンポイントで降りることができる…。同じ日本人として誇らしくなると同時に、「SLIM」よく頑張ったなと思わず感情移入してしまいました。

併せて、この興奮を、久しぶりに子供たちと同じ空間で、共有できたこと（伝わったかどうかは分かりませんが…。）に喜びを感じました。ありがとう4年生。付き合ってくれて。

校長の独り言⑨ 縁あって潮見小で出会って良かったと感じてほしい！

31日の長崎新聞に、総務省が発表した23年度の人口移動報告が載っていました。東京都は、転入者が転出者を上回る「転入超過」が6万8285人で、転入超過が80%増えたとのこと。本県は、6439人減り（転出超過）全国ワースト5位でした。市区町村で見ると、長崎市が転出超過ワースト3位、わが佐世保市は、同5位ということでした。佐世保市で1860人減っています。転出者（県外に出ていく）の多くは20～24歳です。進学や就職が理由とされています。また、25～34歳の転出者も増え、この世代は、子育て世代でもあることから、0～4歳の転出者も増えているとしている。

同新聞のコラムには、〈35歳の男性会社員、既婚で3歳の息子がいる。息子の夢は「おまわりさん」。週末は一緒に遊んだり、お風呂に入れたりして過ごす〉…この二人が一緒にいられる時間の試算結果は「48日と17時間」らしいと出ており、ただでさえ貴重な時間は、突然の災害で不意に断ち切られることを能登地震で実感させられたと続きます。現実的には、この大切な時間は、上記にあるように進学や就職で地元を離れ、そのまま戻ってこなければさらに短くなります。今長崎県が、ふるさと教育を進めているのは、ふるさとの魅力を知り、少しでも地元で根付いて、この転出超過を何とか食い止めたいという施策です。私は、潮見小の子供たちが将来、故郷を離れるかどうかということより、どういう選択肢を選ぶにしろ、置かれた場所で輝ける人に育ってほしいと思っています。併せて、縁あって潮見で学び、生活しているのだから、今ふるさとの良さを刻み、それを生きる力にしてほしいと思います。そのためのコミュニティスクールであってほしいと思っています。

佐世保市学校再編の動向について 26日の長崎新聞に、佐世保市議会において、佐世保市教委から「市立学校再編計画のスケジュール」が示されたことが載っていました。潮見小学校も、このスケジュールで示された34年度までに優先的に取り組む「7地区16校を7校に再編する」学校の中に入っています。本校に関わる学校再編計画の中身は、今年度授業参観の際、来校されて説明された通りですが、具体的スケジュールが示されたのは初めてです。新聞によると、南・山澄地区の潮見・木風・白南風各小学校は31年度に新しい学校としてスタートすると載っていました。いよいよ現実味を帯びてきたように感じました。今から8年後です。今通学している子供たちには影響はなく遠い感じがしますが、その前に、白南風小が解体され、多くの子供たちが潮見小にやってきます。そのことを考えると、その時期がいつか、今後も注視していく必要があります。